平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場会社名　アトミクス株式会社　　上場取引所　大
コード番号　4625　URL　http://www.atomix.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小林　和幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長　(氏名) 喜多　幸一　TEL 03-5297-1801
四半期報告書提出予定日　平成22年11月11日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,631	△3.9	△7	—	△18	—	△82	—
22年3月期第2四半期	4,818	△0.1	△5	—	△17	—	△42	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△9.82	—
22年3月期第2四半期	△5.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	12,766	8,791	68.9	1,041.40
22年3月期	14,089	8,987	63.8	1,064.66

(参考) 自己資本　23年3月期第2四半期　8,791百万円　22年3月期　8,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00			
23年3月期(予想)			—	10.00	10.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,560	△0.9	260	△15.8	260	△16.6	70	△55.8	8.29

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	9,440,000株	22年3月期	9,440,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	997,940株	22年3月期	997,940株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	8,442,060株	22年3月期2Q	8,442,060株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2

(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3

2.　その他の情報 …… 4

(1) 重要な子会社の異動の概要 …… 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4

3.　四半期連結財務諸表 …… 5

(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書 …… 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
(4) 継続企業の前提に関する注記 ……10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済対策やアジア向けを中心とした輸出と生産の増加により、企業収益や個人消費に一部持ち直しの動きが見られたものの、雇用不安が長引くなか、米欧経済の下ぶれ懸念や、急激な円高による輸出への影響など、先行き不透明な状況が続いてきました。

このような環境のもと、当社グループは新規市場の開拓やコスト低減に努めてまいりました。また、海外事業については見直しを行い、中国国内で道路用塗料と施工機械を製造販売してまいりました阿童木(廊坊)塗料有限公司（100%子会社、中国河北省、７月５日付）の解散を決定し、現在、清算を進めています。この清算による固定資産の減損損失、たな卸資産の評価損、貸倒引当金繰入額、整理損失引当金繰入額など合計１億 42 百万円を当第２四半期連結累計期間の特別損失として計上しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高 46 億 31 百万円（前年同期 売上高 48 億 18 百万円)、営業損失７百万円（同 営業損失５百万円)、経常損失 18 百万円（同 経常損失 17 百万円)、四半期純損失 82 百万円（同 四半期純損失 42 百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

＜塗料販売事業＞

建築用では水性タイプ防水材による新規市場開拓が進展したほか、エコポイント制度、エコカー減税などの政策に支えられた国内企業の設備投資に一部持ち直しがみられ、床用塗料の需要が若干回復しました。また、中国の日系企業の業績は好調に推移しているものの、床用塗料の受注に関係する設備投資は抑制気味の状況が続いています。家庭用塗料は厳しい雇用情勢と夏場の猛暑が影響し、需要の低迷が続きましたが、販売価格の見直しとコスト低減効果により、利益が改善しました。また、道路用は、後半に入って官庁工事の発注量が減少したものの、新規顧客の獲得増により出荷量が増加しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は 44 億 62 百万円（前年同期 売上高 44 億 94 百万円）となりました。

＜施工事業＞

当社による工場床塗装工事の受注と、子会社による構造物補修工事と路面標示工事等の受注により、当第２四半期連結累計期間の施工事業の売上高は１億 69 百万円（前年同期 売上高３億 23 百万円）となりました。なお、前年同期売上高との差異発生の理由は、前年同期売上高に、平成 21 年３月期の期末仕掛工事の売上高を含んでいることによるものです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は 127 億 66 百万円（前連結会計年度末比 13 億 23 百万円減少）となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少により、流動資産が 11 億 70 百万円減少したことと、有形固定資産が１億 33 百万円減少したことによるものです。

当第２四半期連結会計期間末の負債は 39 億 74 百万円（同 11 億 27 百万円減少）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金と未払法人税等と引当金の減少により流動負債が 10 億 58 百万円減少したことによるものです。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は 87 億 91 百万円（同１億 96 百万円減少）となりました。これは主に、四半期純損失と剰余金の配当により１億 67 百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

急激な円高の影響や厳しい雇用情勢により、企業の設備投資の抑制や消費者の節約志向、価格訴求がさらに強くなると予想されます。また、官庁工事の発注増も期待できる状況にないため、建築用、家庭用、道路用、工業用の各分野で、新規顧客・新規需要の開拓とコスト削減を徹底し、収益確保に努めてまいります。

これにより、通期の連結業績は、売上高 105 億 60 百万円（前連結会計年度 売上高 106 億 59 百万円）、営業利益２億 60 百万円（同 営業利益３億８ 百万円）、経常利益２億 60 万円（同 経常利益３億 11 百万円）、当期純利益 70 百万円（同 当期純利益１億 58 百万円）を見込んでいます。

なお、この業績予想には、発表日現在（2010 年 11 月 11 日）において把握している阿童木(廊坊)塗料有限公司の清算に伴う損失等の情報を含んでいます。今後、清算を進める過程で新たな損失等が確認され、業績予想の修正が必要となる場合は、速やかにお知らせいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっています。

②税金費用の計算

税金費用については、一部の連結子会社においては、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しています。

これにより、営業損失、経常損失はそれぞれ1,117千円増加し、税金等調整前四半期純損失は、24,055千円増加しています。また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は37,307千円です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,568,540	2,911,967
受取手形及び売掛金	3,381,780	4,328,178
商品及び製品	877,521	914,215
仕掛品	303,941	203,339
原材料及び貯蔵品	433,650	454,755
その他	269,661	196,659
貸倒引当金	△127,423	△131,326
流動資産合計	7,707,671	8,877,788
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,744,050	2,744,050
その他（純額）	1,546,890	1,679,902
有形固定資産合計	4,290,941	4,423,952
無形固定資産	144,289	158,102
投資その他の資産	623,180	629,840
固定資産合計	5,058,411	5,211,896
資産合計	12,766,083	14,089,684
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,195,745	2,832,467
短期借入金	422,844	412,844
未払法人税等	16,000	206,567
引当金	116,273	227,456
その他	399,636	529,532
流動負債合計	3,150,500	4,208,867
固定負債		
長期借入金	357,202	473,624
退職給付引当金	257,184	264,248
引当金	121,348	116,051
資産除去債務	37,575	－
その他	50,728	38,979
固定負債合計	824,039	892,903
負債合計	3,974,540	5,101,770

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	7,443,044	7,610,377
自己株式	△380,175	△380,175
株主資本合計	8,783,268	8,950,601
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,671	43,308
為替換算調整勘定	△18,396	△5,995
評価・換算差額等合計	8,274	37,313
純資産合計	8,791,542	8,987,914
負債純資産合計	12,766,083	14,089,684

(2) 四半期連結損益計算書
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）
売上高	4,818,005	4,631,541
売上原価	3,356,166	3,193,232
売上総利益	1,461,839	1,438,309
販売費及び一般管理費	1,467,741	1,445,646
営業損失（△）	△5,901	△7,337
営業外収益		
受取利息	179	127
受取配当金	3,878	2,803
受取保険金	－	4,880
その他	5,364	5,542
営業外収益合計	9,422	13,352
営業外費用		
支払利息	9,486	7,289
為替差損	11,152	17,152
営業外費用合計	20,639	24,442
経常損失（△）	△17,118	△18,426
特別利益		
固定資産売却益	489	－
貸倒引当金戻入額	8,498	45,352
特別利益合計	8,988	45,352
特別損失		
固定資産売却損	－	68
固定資産除却損	17,314	6,574
減損損失	－	61,753
たな卸資産評価損	－	25,787
貸倒引当金繰入額	－	40,752
整理損失引当金繰入額	－	14,575
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	22,937
リース解約損	－	269
特別損失合計	17,314	172,719
税金等調整前四半期純損失（△）	△25,444	△145,793
法人税、住民税及び事業税	12,674	12,694
法人税等調整額	4,768	△75,575
法人税等合計	17,442	△62,881
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△82,912
四半期純損失（△）	△42,886	△82,912

【第２四半期連結会計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結会計期間 （自 平成21年７月１日 至 平成21年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （自 平成22年７月１日 至 平成22年９月30日）
売上高	2,339,530	2,324,934
売上原価	1,601,802	1,629,425
売上総利益	737,728	695,509
販売費及び一般管理費	724,143	715,768
営業利益又は営業損失（△）	13,584	△20,258
営業外収益		
受取利息	94	92
受取配当金	15	15
受取保険金	－	2,222
その他	2,907	3,289
営業外収益合計	3,017	5,619
営業外費用		
支払利息	4,848	3,589
為替差損	8,534	9,363
営業外費用合計	13,382	12,952
経常利益又は経常損失（△）	3,219	△27,592
特別利益		
固定資産売却益	489	－
貸倒引当金戻入額	10,148	19,589
特別利益合計	10,637	19,589
特別損失		
固定資産売却損	－	0
固定資産除却損	360	6,546
減損損失	－	61,753
たな卸資産評価損	－	25,787
貸倒引当金繰入額	－	40,752
整理損失引当金繰入額	－	14,575
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	7,553
特別損失合計	360	156,970
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	13,496	△164,972
法人税、住民税及び事業税	6,473	4,193
法人税等調整額	8,925	△82,770
法人税等合計	15,399	△78,577
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△86,395
四半期純損失（△）	△1,902	△86,395

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△25,444	△145,793
減価償却費	152,253	147,287
減損損失	－	61,753
賞与引当金の増減額（△は減少）	△30,780	△125,375
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△9,681	△7,063
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△9,768	5,297
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△18,493	△34,119
整理損失引当金の増減額（△は減少）	－	14,575
受取利息及び受取配当金	△4,058	△2,930
支払利息	9,486	7,289
為替差損益（△は益）	7,389	17,350
リース解約損	－	269
有形固定資産売却損益（△は益）	△489	68
固定資産除却損	17,314	6,574
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	22,937
売上債権の増減額（△は増加）	1,195,030	972,264
たな卸資産の増減額（△は増加）	275,333	△45,889
仕入債務の増減額（△は減少）	△893,482	△633,459
その他	△56,207	△105,874
小計	608,402	155,162
利息及び配当金の受取額	4,058	2,930
利息の支払額	△9,510	△7,502
法人税等の支払額	△16,189	△200,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	586,760	△49,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△81,456	△71,188
有形固定資産の売却による収入	800	405
有形固定資産の除却による支出	－	△5,108
無形固定資産の取得による支出	△5,382	△276
投資有価証券の取得による支出	△2,740	△2,490
投資有価証券の売却による収入	－	8,487
その他	△4,435	△3,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,214	△73,202
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△106,422	△106,422
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,707	△9,465
配当金の支払額	△83,523	△82,860
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,653	△198,748
現金及び現金同等物に係る換算差額	△632	△21,787
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	295,261	△343,426
現金及び現金同等物の期首残高	2,189,955	2,911,967
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,485,216	2,568,540

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。